

会 議 録

会議の名称	第13回所沢駅周辺まちづくり連絡協議会		
開催日時	令和5年4月12日(水) 15:00~17:00		
開催場所	所沢市本庁舎 8階大会議室		
出席者の氏名	委員 岸井 隆幸、樋口 清秀、久保田 尚、内田 勉、田中 裕治 佐藤 龍一、岩澤 貴顕(町田 明 代理者)、朝日 直樹、 田畑 大介、武藤 (関口 雄二 代理者)、藤井 義明、 市川 雅巳、柳 麻貴、齋藤 雅裕、鈴木 由紀子、村田 和夫、 鈴木 哲也、鈴木 明彦、埜澤 好美、遠藤 弘樹		
欠席者の氏名	委員 大木 敬治、中沢 善昭、真庭 輝明、瀬戸山 芳毅、平岩 敏和		
説明者の職・氏名	所沢駅西口区画整理事務所 参事 工藤 順一		
議 題	(1) 歩行者ネットワーク形成に向けて		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第(配布資料1) ・所沢駅周辺まちづくり連絡協議会委員名簿(配布資料2) ・所沢駅周辺まちづくり連絡協議会(第13回)説明資料(配布資料3) 		
担当部課名	経営企画部	次長	柳田 晃芳
	経営企画課	課長	小池 純一
	市民部		
	地域づくり推進課	参事	佐藤 尊之
	産業経済部	次長	畑中 武
	商業観光課	課長	古田 晃一
	街づくり計画部	次長	高野 淳
		参事	塩崎 雄
		参事	強矢 賢
	所沢駅西口区画整理事務所	参事	工藤 順一
		主幹	森田 敏幸
		主査	郡山 馨
		主任	柴田 昌孝
		主任	山田 智花
		主任	柳澤 健太
		主任	市野 健太郎
	都市計画課	課長	増子 雄一
	市街地整備課	参事	鎌田 実幸
		主幹	斉藤 邦彦
		主幹	横山 仁
		主査	長谷川 正美
		主任	山賀 将来
		主任	齊木 亮太
		技師	佐藤 夏実
	市街地整備課	電話	04-2998-9208

		と思われる。また、銀ベンチの付近の階段については、カビており、見栄えが悪い。回遊性と言っているが、入り口だけエレベーター等を設けても、階段が汚れていたら意味がない。こういったことが無視されている現状は、問題ではないか。
会	長	階段を含め、他にもいくつか留意していただきたいことがあるという意見だった。
委	員	現状のロータリーのままだが良いという方も多いようだが、東口にある長者久保公園には一日中、人が集まっており、市民の憩いの場として賑わっていて、長者久保公園のようなものを造るということではないが、西口にもそういった場所があっても良いのではと思う。また、ロータリーの現状を維持するとして、バス待機所がパトカーの駐車場となっている現状がある。駅前の一等地を、パトカーの駐車場にする必要はないのではないか。今後バスの本数は減っていくと思われるので、現状のままとするならば、不要となったスペースに何か造ろうという議論が、必要ではないか。
会	長	機能を減らすということではないが、現状のロータリーの構成が最適な形であるかをもう一度検証し、空間に余裕が出れば、そこを何に使用するかを議論する必要があるという意見だった。
委	員	千歩譲って、休憩する空間を造ったとして、ごみはどうするのか。私は、駅前の清掃を行っているが、テイクアウトされたドリンクのごみが、市で用意したごみ箱に突っ込まれており、ひどい状態である。週一回、ロータリーの清掃を行っているが、ごみの量はとても多い。ごみが出た場合、持ち帰ってもらうことが所沢市の方針であるが、ほとんどの方は持ち帰ることがない。私が現場にいた場合は、持ち帰ってくださいとお願いをしている。休憩する空間を造ったとして、近くのスーパーでお酒やつまみを買って、ここで食べる人が出てくると思われる、食べかす等のごみが出る。この場所に、休憩場所のような広場は相応しくない。人の流れを上手に流すという、回遊性を高められる形を、造っていただきたい。また現状、バスのスペースが大きいと思うので、余分な部分をどうするか、考える必要がある。バスの待機所にパトカーを停めるというのも、緊急時に発進できると思えないため、こちらもある必要があると思う。とにかく回遊性というものを第一に考えて、そのあとで広場というより休憩所、例えばベンチを置いて休んでもらうというようなことを、考えた方が良いのではないか。
会	長	造るだけではなく、維持管理をどうするかということと、実際の使い方は、休憩所のようなものが良いのではないかとということであった。
委	員	所沢駅前にトイレが無い。トイレが無いと、イベントが開催されると、ワルツのトイレが使われることになる。東武鉄道の各駅前には、必ずトイレがあるし、都内では公園も多いため、外で使用できるトイレも多い。都市計画課が実施した街歩きで、新しくトイレを造った方がいるということが分かったが、トイレはまだ、十分足りているとは言えないため、必要があると思われる。
会	長	現状不足しているものがあるという中で、例としてトイレが不足しているということであった。

委 員	来年には西口の商業施設が完成してしまうので、先ほど意見が出たエレベーターや通路等、すぐに使用できるものをまず、考えた方が良いのではないか。広場については、10年以上先の話になるため、すぐに使用するものを整理した方が、良いのではないか。
会 長	西武グループの商業施設ができた時の、すぐにできる対策を先に行った方が良いのではということであった。
委 員	先ほど模型を見たが、ロータリーはそれほど広くないので、人が溜まってしまったら、様々な面で支障が出るのではないか。それよりも、所沢のいろいろな方面へ、人が流れて行ってもらう方法を検討した方が、良いのではないか。時々八王子駅に行くことがあるが、2階のデッキがさらに拡張されており、どの降り口にもエレベーターとエスカレーターが設置されていた。高齢者や障害のある方の多くは、エレベーターやエスカレーターを使用するため、そういった方々のことまで考えて、こんな所までというくらいに、設置していかなくてはならないと思う。
会 長	所沢の中で、いろいろな場所に人を誘導させることは、どうすれば実現できるのか。今のままで良いのか、それとも余裕のある空間を造る必要があるのか。ただし、時間をかけ造り出すこともあれば、当面やらなければならないこともあるのではないかと、というようなご意見だった。
委 員	作成していただいた模型に、ワルツを通り抜けた先のデッキがある。実際に駅前の階段の改善をしていないのに、ワルツの裏側のデッキを模型に反映していることに、納得ができない。現在の階段は滑るし、手すりもない、安全性のことを考えていない。私はここに住んでいるため、そのことが良く分かっている。他県、他市から来た人が、どう思うのか。こういったところを改善しないのに、回遊性ということとはできない。デッキの話をする前に、階段の改善は必須である。
委 員	駅前の話は、我々の組織も、理事会等で聞き及んでいる。駅前広場の案については、ロータリーの面積が狭い中で、苦労して作られた案だと思っており、現状のロータリーが、ベストかと言われるればベストではないということも、理解している。しかし、現実問題を考えると、提案された駅前広場の案通りに進んでしまうと、怖い面があると思っている。我々理事の総意としては、現状のロータリーがベターであるということをお伝えしておきたい。そこに滞留があっても、周りに魅力が無ければ、滞留するだけで、人の流れが周りに向かない。先ほど話のあった、ファミリーマートとハンコ屋の通りは、新しい飲食店がオープンし、人が増えている。土日には、散歩されている方も見受けられる。そういうような場所を拠点、拠点で整備して、それらのハブのような場所であれば良いと思う。どの人も行きたいところがあれば、直接行ってしまおうと思うので、所沢駅前を整備したからといって、回遊性が生まれるわけではないと思う。
会 長	周りに魅力が無ければ、駅前を整備しても、回遊性が生まれないというのはその通りである。

委員	<p>前回の協議会でもお伝えしたが、交通結節点として、歩行者の交通量の分析はしていただいたが、車、バス、タクシーを含めて、ロータリーとして機能できているのか、ということを整理していただいて、交通結節点という機能は、保持していただきたいと思う。</p>
委員	<p>説明資料16ページにある、滞留空間という名称についてだが、滞留という言葉が誤解を招いていると思う。得体のしれない人たちが溜まっている場所のような、イメージを与えてしまっている。滞留空間というのは、要するに広場である。駅前広場という言葉があるが、駅前広場には2つの機能がある。道路とバス、タクシー、車の結節する交通結節点としての機能と、駅を降りた人がパッと目にする緑や空間があることで、景観的にも空間的にも、ゆったりとした空間が存在するという機能である。どんなものが良いかということは、地元の皆さんで議論していただくとして、日本全体の傾向を、ご案内させていただきたい。今まで日本の駅前広場は、交通結節点の機能ばかり重視してきた。ゆったりした空間を造ってこなかったという反省から、交通結節点としての機能は保持しながらも、ゆったりとした空間を設けるといのがトレンドである。おそらく10年後には、日本中の駅前がそうなっていると思われる。その時に、所沢の駅前が現状のままであって大丈夫か、心配している。駅をパッと出て、広々とした空間があって、そこに行ってみると木が生えていたり、案内看板があったりして、プロペ通りはこっちだとか、西武の商業施設はこっちだとか、それぞれの方向に散っていくと、そういう空間が駅前にあるということの重要さというのもある。今の情報量の中でどれにするかという意思決定をするのではなく、写真だけでは伝わらない部分もあるので、全員で新しい空間を造った所に行ってみて、情報量を増やして議論していただく必要があると思う。</p>
副会長	<p>私自身も何回も所沢駅前を見ていて、先ほど意見のあったデッキの階段部分については、早急に改善すべきだと私も思う。しかし、当協議会では、10年先の話を議論すべきであり、階段については所沢市の担当部署が、早急に対応すべき問題であると思う。また、駅前の空間についての話であるが、先のご意見と同じく、駅を降りてすぐにタクシーに乗って、目的地へ行ってくださいという空間でよろしいのかという、懸念がある。私の住んでいる最寄り駅の東急田園都市線のたまプラーザは、駅を降りると駅自体が駅ビルになっていて、上の階には100以上の店舗が入っていて、タクシー・バス乗り場が地下にあり、そこにはディズニーランド行や成田・羽田空港行のバスもある。その乗り場までに、エスカレーターもエレベーターもあるので、そこに行くのに苦にならない。また、駅ビルの2階は広い空間になっており、フードコートがあったり、地元のテレビ局が運営するレンタルスペースで、演奏会等のイベントが行われたりしている。そういったところから、ここは非常に住みやすい地域となっており、駅の近くにも百貨店があり、イトーヨーカ堂もある。所沢もそういった空間にした方が、良いと思う。滞留空間とは、皆さんのイメージするようなものではなく、やはり広場である。広場があって、そこをどう使うかは、皆さんで議論することであるが、ロータリーのままで良いのかということとなると、所沢駅を利用する人が、スムーズに帰れるだけで良いのだろうか。皆さんはここで商売をする必要があるわけで、商売をするには取引を活発にする必要がある、そのためには、ある一定の時間そこで過ごしてもらう必要がある。皆さんの危惧されることと、それをどう</p>

会

長

折り合いをつけるのが問題となる。

この議論を始める前に、プロペ通りの奥まで入った、少し広いエリアでの議論を行ったと思う。どういう設えにしていけば、多くの人に所沢を楽しんでもらえるのか、ということも議論していて、その中で今回は、駅前広場に焦点があたっている。先に意見が出たが、ここの広場だけを綺麗にしても、誰もプロペ通りには行かない。プロペ通りに魅力が無ければ、人が流れていくことはない。私もその点を懸念している。西武が造る商業施設は大変大きく魅力的であり、駅からデッキですぐに行くことができる。私はその商業施設だけではなく、多くの方にぜひ、所沢の中を歩いていただきたいと思っており、そのためにできることは、少しでもやった方が良く思う。また、意見の通り短期的にもやらなければならないと思し、もう少し根本的に多くの方が街に出てきてくれるように、所沢自身が魅力的になるには、何をすれば良いのかを考える必要があるのではないかと。それは西武の商業施設の中の議論でもあった。どんなものを商業施設の中に入れてもらえるのか、どこから人が来てもらえるのか、そういう新しく来ていただいた人達に、同時にどんなことをここでやってもらうのか、そういった大きなシナリオを考える必要があるのではないかと。短期的にやることについても、商業施設ができれば客が大勢来て、デッキを通って行くことが予想されるので、必要なことかと思う。また、現状のロータリーの使い方について、タクシールールがあれば必要なのかということや、バス待ちのスペースがあれば必要なのかという意見もあったが、もう少し現状を把握したうえで、使い方を変えて、周りの空間を使いながら、機能を確保することは大前提だが、機能を減らすことや阻害することなく、今の空間の使い方をもう一工夫できないのか、ということも追求しても良いと思う。今日は、模型や歩行者の交通量、そして自転車に関すること、バスやタクシーについて意見があったので、それについて再度説明をいただき、狭い駅前広場ということは変わらないし、それを広げることは困難であると思うので、皆さんで何か空間を生み出す工夫はないのか、あの空間を如何に有効に使うかを議論していただきたい。2階を使うということも一つだと思いが、2階を使えば使うほど、下には降りてこないの、上手い組み合わせを議論していただきたい。長期的なものについては、もう少し時間があるため議論を深めていきたい。模型を見ると様々な意見が出てくるので、今日のような議論はとても重要である。

会

長

今後所沢市の動きはどういうスケジュールなのか確認したい。

事

務

局

説明資料5ページにスケジュール案をご提示したが、各種団体や障害者団体等の意見を伺っていきたく思っている。各団体と協議を行っていき、先ほど意見のあったバスやタクシーの位置や現状の使われ方について整理して、いただいたご意見等を当協議会にご提供させていただく。実施時期については、今のところではあるが、秋ごろを予定している。

会

長

今日参加されていない団体にも意見をいただいて、それを次回の協議会で提供いただき、それを受けて再度どんなことが良いのか議論していく。先ほどあった、ここだけ変えても上手くいかないのではないかと意見については、その通りだと思うので、その外側の中心市街地もしくは所沢の街の中心部をどのように盛り上げていくのか併せて

		議論できればと思う。そして当面の問題に、手を打つべきなのか必要ないのか、手を打つなら何をするのか議論していきたい。
副 会 長		委員から意見のあった、汚れた階段についてどのように対応するのか伺いたい。
事 務 局		以前から意見をいただいていた箇所なので、手すりの設置についても含めて検討したい。
会 長		その階段については、駅前広場に降りる前に一つ下がって隣のビルに接続している。デッキを造る場合、普通はそうならないと思うので、何か特別な経緯があると思う。経緯から良く調べていただき対応をお願いしたい。
副 会 長		今困っていること、今後2、3年で困るだろうというものは、当協会とは別枠で、早急に予算化していただき、修復・改善を考えた方が良いと思う。それは所沢市側で市民の意見を聞いて必要であれば早急に着手すべきだと思うのでよろしくお願いしたい。
会 長		長い時間かかるものとすぐにできるものと様々あると思うので、市の方で良く整理していただきたい。そして、ここに参加されていない各種団体の方から幅広く意見を伺った方が良いと思う。また、こういう意見を聞くべきであるという方がいらっしゃれば、ぜひ市の方に言っていただければと思う。なるべく早い段階で意見を聞いて議論していきたい。
6 . 閉 会		司会より閉会 樋口副会長より閉会の挨拶 活発な意見をありがとうございます。我々もそれぞれの専門分野から意見をさせていただいたが、我々の方が十分正しいと言うつもりはないので、皆さんと意見を交換しながら良い案となるよう祈念している。また、次回さらに意見が進むことを期待している。(終了) (以上)